

3. 平成28年度自殺対策行動計画における主な取り組みについて

(1) 平成28年度ゲートキーパー養成研修会

① 職員等対象 草津市ゲートキーパー養成研修会

【初級編】

12月22日(木) 講師：京都橘大学看護学部 西田大介さん 参加者数 57人

1月27日(金) 講師：京都文教大学臨床心理学部 松田美枝さん 参加者数 42人

【ステップアップ編】

1月12日(木) 講師：滋賀県立精神保健福祉センター 辻本哲士所長 参加者数 70人

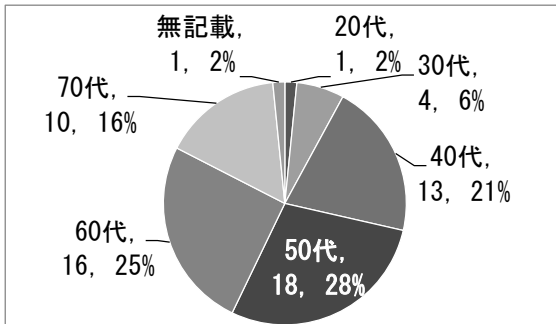
② 市民等対象 草津市ゲートキーパー講座

12月17日(土)午後 講師：滋賀医科大学医学部附属病院看護師長

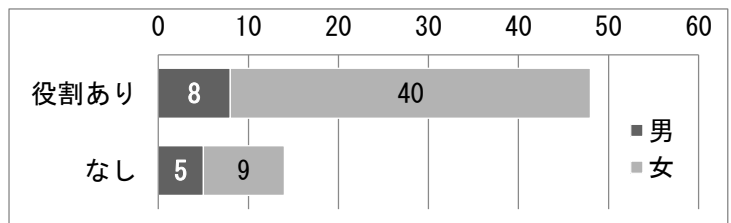
リエゾン精神看護専門看護師 安藤光子さん 参加者数 81人

(参加者アンケートより：回答65人)

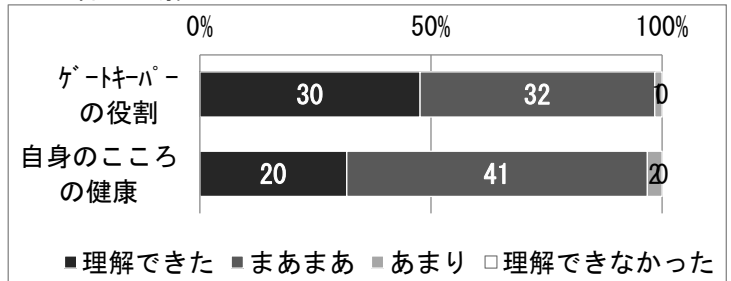
◆年齢



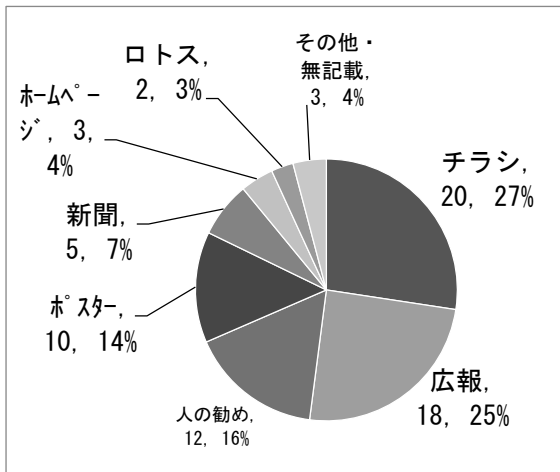
◆現在やこれまでに、誰かの悩みや困りごとの相談を受ける役割になることがあったか



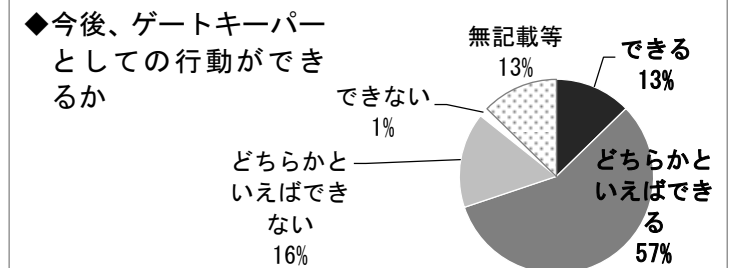
◆内容の理解



◆参加のきっかけ(複数回答)



◆今後、ゲートキーパーとしての行動ができるか



◆自由記載より

- ・安藤さんのお話がよくわかりました。自分自身、相談員をしていてしんどくなることが多いです。自分を知ることで、自分のエネルギーがどんな状態なのか、常に意識しておきたいと思います。
- ・自分の意見よりも、共感して相手の苦しいところをうまく聞き出せるようになることが重要だと感じた。すぐに自分の意見を言うところがあるので、聞くように努めたい。
- ・聴くことの大切さを実感しています。私にできることをやっていこうと思いました。
- ・身近な人を大切にしたいと思いました。
- ・とても分かりやすく、内容も充実していて、本当に良かったです。ロールプレイも台本が用意されたことで、全員が取り組めたこともとても良いと思いました。
- ・いじめ問題で自ら命を絶ってしまう子どもたちが後を絶ちません。しんどい思いをしている子供たち、行動などで気づけることも学びたいと思います。

(2)自殺未遂者支援について

①湖南いのちサポート相談事業

湖南圏域の救急告示病院を受診した自殺未遂者やその家族等に対して相談支援を行い、再企図を防止することを目的とした相談事業。

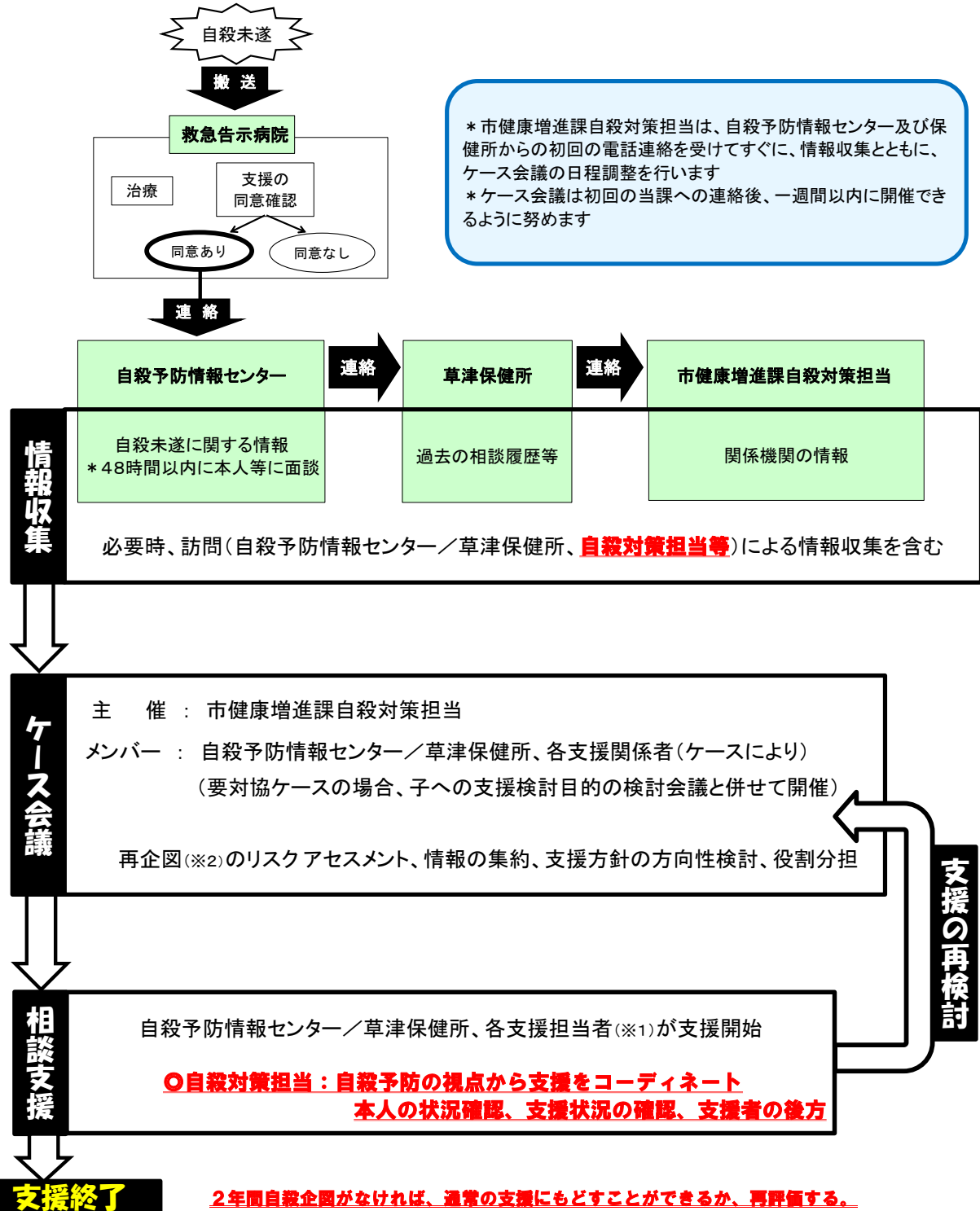
<対象者>

湖南圏域内の救急告示病院を受診した自殺未遂者で湖南圏域に在住する者のうち、本人またはその家族に連絡の了解が得られた者。

<自殺未遂と自殺の関連性>

自殺未遂は自殺に至る最も高い危険因子であり、繰り返し再企図し既遂に至る可能性が高いため、自殺未遂者の再企図を防止することが自殺者を減らすことに繋がる。また、自殺未遂者の再企図を防止するには、地域の関係機関が協力して支援していく必要がある。

<湖南いのちサポート相談事業 フロー図>



* 市健康増進課自殺対策担当は、自殺予防情報センター及び保健所からの初回の電話連絡を受けてすぐに、情報収集とともに、ケース会議の日程調整を行います
* ケース会議は初回の当課への連絡後、一週間以内に開催できるように努めます

※1) 支援関係者・担当者・機関：健康増進課、社会福祉課、子ども家庭課、草津市立障害者福祉センター、精神障害者地域生活支援センター風、圏域地域包括支援センター等

※2) 再企図：自殺を再度企てること

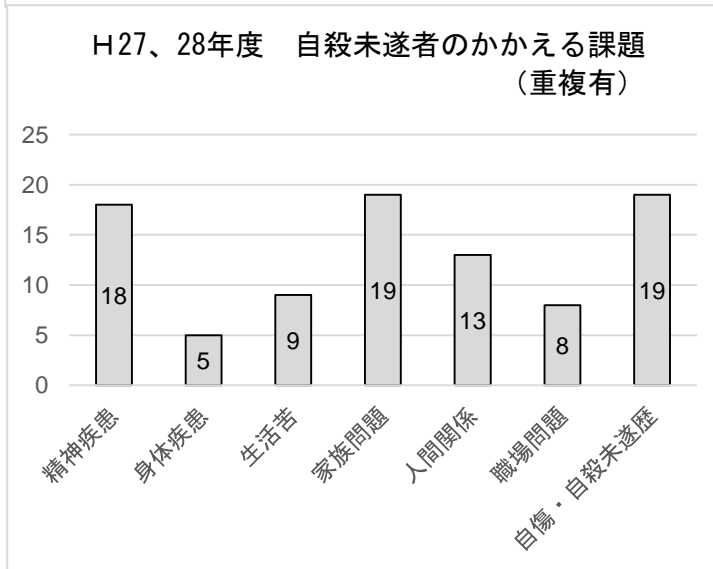
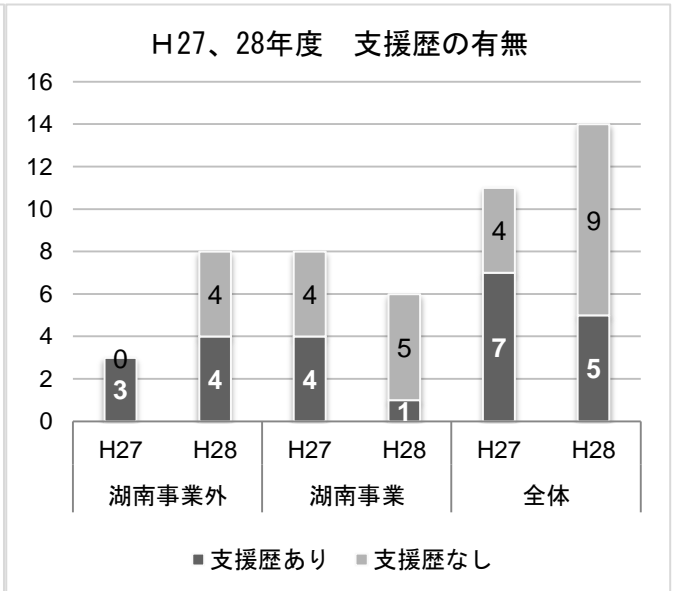
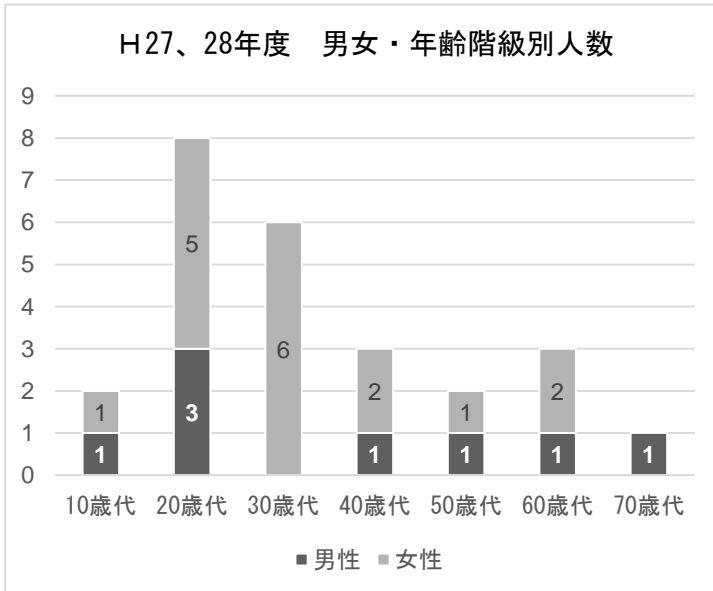
②自殺未遂者支援状況 (自殺対策担当者把握)

●平成 27、28 年度 自殺未遂者の把握状況 (H27. 4～H29. 1. 23 時点)

H27 年度：男性 2 人・女性 9 人 H28 年度：男性 6 人・女性 8 人 計 25 人
 ※湖南いのちサポート相談事業を「湖南事業」と記載しています

◇年度・事業別

	湖南事業外	湖南事業	計
H27	3	8	11
H28	8	6	14
合計	11	14	25



◇事業外把握経路

H27 年度：健康増進課母子担当、社会福祉課

H28 年度：救急告示病院、障害者福祉センター、本人、草津保健所管外医療機関、地域包括支援センター

◇支援連携機関 (H27、28 年度)

医療機関、中学校、訪問看護事業所、移動支援事業所、ハローワーク、障害者職業センター、滋賀県自殺予防情報センター、草津保健所、中央子ども家庭相談センター、当市社会福祉課、商工観光労政課、子ども家庭課、人権センター、学校教育課、長寿いきがい課、地域包括支援センター、障害者福祉センター、健康増進課エリア担当 (H27 年度：母子、精神担当)